

## 第1号議案

# 平成 30 年度事業報告(案)

## I 概 況

平成 30 年度の沖縄県の観光入域客数は、999 万 9,000 人で、前年度比 104.4%、41 万 9,100 人の増となり、6 年連続で過去最高を更新した。その内、国内客は、699 万 8,200 人で、対前年度比 101.6% 11 万 300 人の増となり、これについても 6 年連続で過去最高を更新した。外国客は、300 万 800 人で、対前年度比 111.5% 30 万 8,800 人の増となり、11 年連続で過去最高を更新し、初の 300 万人台となった。

平成 30 年度は、度重なる自然災害や麻しん発生の影響により、年度目標の 1,000 万人には届かなかったものの、行政や民間が一体となったプロモーション活動により、沖縄の認知度向上や旅行意欲の喚起を図ったことや、離島直行便など国内航空路線の拡充による国内客の増加、海外航空路線の拡充・クルーズ船寄港回数の増による外国客の増などが増加した要因とされている。

一方、平成 30 年(暦年)に那覇市を訪れた観光客の総数は 870 万 4,727 人となった。沖縄県全体では 984 万 2,400 人となっており、沖縄県を訪れた観光客の 88.4%が那覇市を訪れていると推計される。内訳は、国内客が 633 万 7,113 人(72.8%)、外国客が 236 万 7,614 人(27.2%)である。なお、平成 29 年度の外国客比率が 26.3%であったことから、外国客の増加が目立っている。

### ○沖縄県の観光客数 (年度)

単位:人

	国内客	外国客	合計	備考
平成 30 年度	6,998,200	3,000,800	9,999,000	104.4%
平成 29 年度	6,887,900	2,692,000	9,579,900	

出典:沖縄県入域観光客統計概況

### ○那覇市の入込観光客数

単位:人

	国内客	外国客	合計	備考
平成 30 年	6,337,113	2,367,614	8,704,727	暦年
平成 29 年度	6,224,222	2,222,441	8,446,663	年度

出典:那覇市の観光統計(平成 30 年度版)

## Ⅱ 個別事業報告

### 1. 総務、広報及び協会運営関係

#### (1) 会員数 424 社(平成 31 年 3 月 31 日現在)

平成 30 年度は、新規に 39 社の加入があったが、廃業等により 28 社が退会し、最終的な会員数は 424 社となった。観光客の受け入れを強化し、那覇市の観光を促進する為には那覇市観光協会の組織強化が必要であり、今後も引き続き会員拡大に取り組む。

#### (2) 観光情報誌「NAHA-NAVI」の発行

県内会員企業や観光施設・宿泊施設・交通機関などに配布、さらに県外旅行社、修学旅行関係者、学校、沖縄観光コンベンションビューロー県外事務所に配布した。「NAHA-NAVI」は広告収入で維持しており、内容を充実し継続発行するため、会員企業を中心に広告収入拡大を図る必要がある。

- \* 一般用「NAHA-NAVI」 年 3 回発行 24 万部発行
- \* 修学旅行用「NAHA-NAVI」 年 2 回発行 30 万部発行

NAHA-NAVI 収支		単位:千円
広告収入	発行経費	収 益
7,880	7,164	716

#### (3) 那覇市観光協会ホームページ(観光情報サイト 那覇ナビ)の運営

WEBを活用した情報提供が重要となっており、当協会としてもホームページに特集記事を掲載し、イベント情報や会員企業との連携情報の提供に努めた。今後さらに観光客ニーズを捉えた情報発信や会員企業との連携を強化しながらSNS等を活用して情報発信に努める。

#### (4) 第 43 代那覇観光キャンペーンレディの活動

那覇市の観光親善大使として「那覇観光キャンペーンレディ」を姉妹都市や観光交流都市へ派遣し、市長表敬やイベント会場等での観光パンフレット配布等を通して、那覇の魅力や旬な沖縄の情報発信を行い、那覇市の観光PRに取り組んだ。また、県内においても、三大祭りや公式行事等に参加しながら、年間を通じて効果的かつきめ細やかなプロモーション活動に取り組んだ。

##### ○主な県外の派遣先及び参加イベント

- ・神戸(5/19～21) 第 48 回神戸まつり
- ・金沢(6/1～4) 金沢百万石まつり
- ・東京(6/1～4) 池袋サンシャインシティ沖縄めんそーれフェスタ 2018
- ・東京(7/7～8) めんそ～れ沖縄・那覇デー(東京ドーム)
- ・北九州(8/3～5) わっしょい百万夏まつり
- ・宮崎(10/20～21) 第 41 回飫肥城下まつり

- ・長崎(2/15～17) 長崎ランタンフェスティバル
- ・神奈川(3/16～17) 第41回那覇の物産展

○主な県内の参加イベント

- ・那覇市制施行 97 周年記念式典、なんみん祭、観光月間キャンペーン 他
- ・那覇の三大祭り(那覇ハーリー、那覇大綱挽まつり)
- ・沖縄国際映画祭、NAHA マラソン、読売巨人軍春季キャンプ 他イベント

## 2. 観光客の誘客・受入事業

### (1) 那覇市観光案内所の運営

日本政府観光局認定のビジットジャパン案内所(カテゴリーⅡ)として、国内外の観光客を迎え那覇市及び沖縄県内の観光地案内、手荷物預かり、車いすの貸し出し、会員店舗のパンフレット配布などの情報発信と受け入れ体制の充実強化に取り組んだ。来所者数は前年を下回り、10万人を超えることが出来なかった。

○平成 30 年度 那覇市観光案内所来訪者

	来訪者数(人)		前年度比(%)
	平成 29 年度	平成 30 年度	
国内客	83,148	83,007	99.8
外国客	16,865	13,720	81.4
合 計	100,013	96,727	96.7

○外国客・国別来訪者数

国名	来訪者数(人)	前年度比(%)
①台湾	3,713	80.4
②中国	1,755	84.1
③香港	1,174	60.7
④韓国	1,063	55.2
⑤アメリカ	1,032	100.8
⑥フランス	755	100.1
⑦シンガポール	726	135.2
⑧ドイツ	426	71.8
⑨オーストラリア	373	81.3
⑩タイ	345	70.1

\* 国内客は、入域観光客を反映して、案内所来訪者もほぼ横ばいの見込み。

\* 外国客の案内所来訪者は韓国、香港、台湾等が落ち込んでいる。

なお、シンガポールは、増加傾向にある。

## (2) ショップなはの運営

「ショップなは」では、那覇の物産展 那覇市長賞・優秀賞受賞商品、イベント等の観光資源をキャラクターにした「なは土産」の商品、読売巨人軍応援グッズ、離島をはじめ県内各地のこだわり土産品などを販売し、自主財源確保に取り組んだ。

\*平成30年度売上げ 14,659 千円

## (3) 観光まちづくり整備事業(那覇まちま〜い)

30年度は相次ぐ台風接近の影響や団体扱い旅行者の減少等により「那覇まちま〜い」への参加者は減少となった。旅行社を通じての団体ツアー参加者の減少が顕著にみられる中で、コース数を調整するなど事業効率を改善に取り組んだ結果、参加人数、売上は減少したが事業効率・運営収支は改善された。今後は、新コースの提案を含めシーズン限定、イベントコース、新たな体験や食べ歩きなどの企画を強化し提案していく必要がある。また、カリスマと言われるガイドの育成に努め、新たな商品開発により、幅広い層の参加者の獲得に努める。

また、修学旅行に関しては、平和学習プログラムとして継承型語り部「朗読劇」を実施するとともに、首里城のガイドのみならず、てんぶす那覇を起点とした3コース(市場、壺屋、ワキミチ)に分散して大規模校にも対応を行った。

### ①まちま〜い一般コース

\*参加者数 11,235 名 (前年度比 75.4%)

\*売上金額 11,830 千円 (前年度比 73.9%)

### ②修学旅行の「那覇まちま〜い」

\*「那覇まちま〜い」参加校 10 校 1,690 名

\*朗読劇 13 校 2,635 名

## (4) 外国人観光客受入整備事業

那覇市は、沖縄観光のゲートウェイとして交通、宿泊、飲食、物販などの中核機能を担っており、観光客数の更なる増加と来訪目的の多様化に伴う受け入れ環境の強化に対応するため、多言語対応職員を配置し取り組んだ。

### ①企業・店舗語学サポート

会員企業を中心に各企業・店舗に言語サポート要員を派遣し、語学指導を実施。

65 事業所 述べ 687 回サポート(街なかサポートを含む)

### ②語学講座

土産品店、飲食店、ホテル従業員など観光関連事業所のスタッフに対して、英語、中国語、韓国語の語学講習を実施した。

48 コマの講座を開催 462 名が受講した。

### ③クルーズ入港時のサポート

クルーズ船入港時に那覇クルーズ促進協議会の要請に応じ、入港岸壁で観光客に対する案内サポートを派遣した。派遣回数 182 回

#### ④外国人観光客の動向調査

国際通りを中心に外国人観光客動向や沖縄観光への意見等のアンケート調査を実施した。

#### ⑤那覇市の各イベントおよび防災対策において通訳補助や表示・案内物の翻訳等を実施した。

### (5) クルーズ受入推進事業

那覇クルーズ促進連絡協議会から臨時観光案内所設置運営等の業務を受託し、クルーズ寄港時に若狭クルーズ船ターミナルや安謝新港旅客待合所に臨時観光案内所を開設しながら乗客、乗員への観光案内サービスやタクシー案内等を実施した。対応要員は当協会の外国人観光客受入整備事業のスタッフ及びボランティアガイドが中心になり取り組んだ。

なお、前年度を大きく上回る客数であったが、貨物港(安謝新港)における旅客受け入れのためのインフラ整備、バスやタクシー等の二次交通対策、悪天候時の対策等が急務となっている。

\*平成30年度クルーズ船の那覇入港回数 251回(前年度247回)

\*同客数 650,449人(前年度546,000人)

### (6) 観光クーポン券取扱事業

那覇市の観光・文化財施設である識名園、玉陵、福州園、那覇市歴史博物館、那覇市立壺屋焼物博物館に関し、全国の旅行社とクーポン券取扱契約を締結し、各施設の集客に努め、前年度比119%の増加に繋がった。世界遺産や文化的な史跡を巡る旅行の人气が高まっていることから、引き続き文化施設のPRを強化し集客に努める。

また、旅行形態が団体型から個人型へ変化しており、今後はスマートフォンを活用したクーポン券の受入れを促進し、個人客や外国人観光客などへターゲットを広げ営業活動に努める。さらに、クルーズ客のバスツアーとの連携を強化していく。

\*平成29年度 5施設の入場者数 14,405人

\*平成30年度 5施設の入場者数 17,154人

## 3. 自主事業(指定管理受託事業)

### (1) 波の上ビーチ広場

那覇市から指定管理業務を受託し、波の上ビーチに隣接する「同広場」の管理・運営を行った。ビーチ利用客および市民、観光客のための売店運営・バーベキュー事業を展開し、多くの市民、観光客に活用していただいた。また、地域との連携を強化し、同施設の清掃業務を地域自治会に委託することで、同エリアの日常的な環境美化に取り組んだ。

## ○平成 30 年度 波の上ビーチ広場 管理・運営収支

単位:千円

管 理		
収 入	7,822	管理委託料、シャワー収入、他
支 出	9,918	賃金、備品代、修繕、清掃、保険、他
損 益	△2,096	
自主事業		
収 入	14,389	売店、バーベキュー、コインロッカー売上 他
支 出	11,641	賃金、仕入、備品、消耗品 他
損 益	2,748	
合計損益	652	収益の 1/2 は那覇市に返納

## (2) 松山公園文化交流施設

那覇市から指定管理業務を受託し 3 年目を迎え、福州園、クニンダテラス、松山公園駐車場の管理運営に取り組んだ。今年度は度重なる台風の襲来や、外国人団体観光客の減少等により福州園入園者は前年度比マイナスとなった。

自主事業においては、通年で実施を予定していた福州園ライトアップについて、那覇市福州園再整備事業に係る状況の変化等により上期にて一旦終了とし、下期は夜間貸し切りパーティー、イベントなどアフターMICE 活用に取り組んだ。

\*平成 30 年度 福州園入園者数 54,456 人(前年度比 90.4%)

## ○平成 30 年度 松山公園文化交流施設収支

単位:千円

歳 入		
指定管理料	20,400	指定管理料、修繕費
利用料金	14,742	福州園入園料、飲食店手数料 他
自主事業	6,859	駐車場、イベント収入
合 計	42,001	
歳 出		
固定費	14,606	人件費、光熱費、宣伝費、事務費、租税公課
一般事業	25,172	清掃、整備、ごみ処理、修繕
自主事業	2,855	イベント設営、運営、管理費
合 計	42,633	
収支合計	△632	

#### 4. イベント事業

那覇市には琉球王国に由来する文化や行事が数多くあり、那覇三大祭である那覇ハーリー、那覇大綱挽、琉球王朝祭り首里などの伝統的な祭りの他、沖縄国際映画祭など参加型のイベントに取り組んだ。また、県内では冬場の温暖な気候を生かした、プロ野球やサッカーのキャンプをはじめとするスポーツイベント等も数多く開催されており、伝統、歴史、文化、スポーツ等様々なテーマで繰り広げられるイベントを、当該実行委員会や関係団体と連携して取り組み、伝統文化の継承発展及びMICE効果の誘発に取り組んだ。

(1) 島ぜんぶでおーきな祭「第10回沖縄国際映画祭」 4月19日(木)～4月22日(日)

今開催は、離島を含む12市町村24会場と過去最大の規模に成長。前夜祭を含む4日間の開催を通し、各会場で集客数のアップに繋がった。当協会は沖縄国際映画祭「なは応援団」の事務局を担い、レッドカーペットでのPRをはじめ映画祭関連事業に取り組んだ。

\*実績 集客約25万人

(2) 第44回「那覇ハーリー」 5月3日(木)～5月5日(土)

当協会は歴史と伝統のある「那覇ハーリー」の実行委員会構成団体として事務局業務を所管している。那覇爬龍船振興会等の関係団体と協力し多くの県民、観光客に楽しんでもらえるよう取り組んだ。悪天候により3日午後の爬龍船競争は中止となった。

\*実績 集客約16万4千人来場(3日間)

(3) 第48回「那覇大綱挽まつり」 10月6日(土)～10月8日(月)

「那覇大綱挽まつり」の実行委員会構成団体として、「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」を主管している。那覇大綱挽保存会や関係団体等と協力し多くの県民、観光客に楽しんでもらえるよう取り組んだ。

\*実績 集客約31万8千人(イベント全体)

\*10月6日(土)「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」 約4万8千人

\*10月7日(日)「那覇大綱挽まつり」 約27万人

\*10月6日(土)～8日(月)「RBC市民フェスティバル」

※台風接近により会場設営が間に合わない為中止

(4) 第53回「琉球王朝まつり首里」 11月3日(土)

「琉球王朝まつり首里」は琉球王朝の栄華を伝えるまつりとして、首里振興会が主体となって実行委員会方式で実施されており、関連イベントを含め例年多くの誘客に繋がっている。第53回は残念ながら雨天のため中止となった。

(5) 第 34 回 NAHA マラソン 12 月 2 日(日)

NAHA マラソンは、那覇市、南部広域市町村圏事務組合等を構成団体とする実行委員会が開催しており、当協会は構成団体の一員となっている。例年約 3 万人がエントリーし、県外・海外から約 1 万 1 千人が参加する冬場の誘客イベントである。経済波及効果が大きいイベントであり、関係団体と協力してNAHAマラソンの円滑かつ安全な実施と誘客の促進に取り組んだ。

\*実績 28,395 人エントリー(県外・国外 11,169 人、県内 17,226 人)

(6) プロ野球「読売巨人軍春季キャンプ」 2 月 1 日(金)～2 月 28 日(木)

読売巨人軍那覇協力会の一員として、会員企業、店舗に呼びかけ積極的に協力会の会員確保とキャンプのPRに取り組んだ。また、那覇キャンプオリジナルかりゆしウェア琉球ガラス等のオリジナル・ジャイアンツグッズの製作・販売に取り組んだ。

プロ野球のキャンプは、冬場の温暖な気候を生かしたスポーツイベントとして県全体における経済波及効果も大きいことから、引き続き協力会業務の充実・強化に取り組む。

\*三軍キャンプ 2 月 1 日(金)～11 日(月)

\*一軍キャンプ 2 月 13 日(水)～28 日(木)

\*観客数 約 12 万人(2/1～2/28)